



を願った。

ンスクラブ(清水英)

太さんら2人が訪れ

い」と話した。

たい」と話した。

48歳、4児の子育てをしている父親で、多くの人を巻き込みながら実現していく世の中においても、ありのままを感じ取る心、情感を大切に生きていってほしいと感じています。

現在、駿河湾沼津フィルムコミッション「ハリプロ映像協会」主催の「プロから学ぶCMアカデミー沼津」を受講しています。半年間にわたる全6回の講座でプロのCM監督から学び、CM制作を実際に行います。

先日、その一環として誠恵高等学校を訪問しました。誠恵高等学校と言えば、芸術系やeスポーツ部が有名です。活き活きとした高校生の姿を期待し、放課後にお邪魔しました。学校訪問では、驚きと感動の連続でした。誤解を恐れずに言うと、生徒と先生の「ノリの良さ」に感銘を受けました。

興味を持ったことに積極的に取り組み、多くの人を巻き込みながら実現していく世の中においても、ありのままを感じ取る心、情感を大切に生きていってほしいと感じています。

この小野貴弘理事長の思いを教頭先生が校内を案内しながら話してください、生徒達がその思いを受け止め、実際に行動に移している姿を見て感動しました。

この小野貴弘理事長の思いを教頭先生が校内を案内しながら話してください、生徒達がその思いを受け止め、実際に行動に移している姿を見て感動しました。

心に種をまく

飯田理一郎

紙のように薄い素材を用いてマスクに繊細で、焼成中に破損することが多かったと聞いています。それほどまでにデリケートな素材で一つの作品を完成させる高校生の情熱には心を打たれましたが、これも生徒の努力だけではなく、先生方の献身的な支えがあったからこそ実現できた。

「さまざまなたとところ、教頭先生から返信をいただきました。後日、学校訪問のお礼のメールを送ったところ、教頭先生から返信をいただきました。

この言葉の意味をさらに深く知りたくなり、調べてみたところ、昭和46年に出版された同名の本を見つけ、読んでみました。

11月4日、プラザヴェルデ3階コンベンションホールで杉原千畝夫妻の人道的活動と、夫妻が駐留していたリトアニアの現在を知るイベント「リトアニア・トウデイ」が開催されます。第2部では、

私が小学生の時に初詣で聴いた高田好胤さんのお話の内容はもう覚えていませんが、その楽しかった印象や、またお話を聴きたいと感じています。それこそ、心に種をまかれていたのだ、と感じました。

この言葉が発したのは、ユニークな方法で多くの人達を楽しませてくださった薬師寺管主の高田好胤さんでした。「物を作ることも大切やけど、それだ

れた。キッチン照明や赤提灯の薄明かりの下、夜の中心市街地、飲みを楽しむ若仕事帰りの会社でにぎわった。

5、6日、大の中央公園で開いて人気を博したキッチンカーの実行委に参加する市内の合同会社ニーズと三島市U E がトライア画として参加。18日にも午後18時まで同相開く。

市では「駅前辺オープン化」に向け、独立行政法人都市再生

(原町中)